

# 平成27年度愛知県社会福祉協議会

## ボランティアセンター事業報告（福祉教育関連）

### 1 福祉読本「ともに生きる」の作成・配布

小学生の社会福祉についての理解と関心を深めるため、学校・家庭・地域における福祉教育の啓発材料として「福祉読本」を改定・作成し、県内の小学校5年生を対象に、作成・配布した。

・作成部数 93,000部

### 2 「地域・学校・社協ですすめる福祉教育ハンドブック」の作成・配布

地域、社協、学校での福祉教育推進を図るとともに、新たに教員のための福祉教育ハンドブックを作成し、地域・学校・社協の協働による新しいプログラムを策定・提示し、福祉教育の推進を図った。

・作成部数 5,000部

### 3 2016 福祉教育・ボランティア学習のつどい in あいち・なごやへの参画

①期 日 2月6日

②参加者 196名

③会 場 日本福祉大学東海キャンパス

④内 容 ・基調対談

「今だから問う。ボランティアの原点とは何か」

講演者 大阪ボランティア協会理事長顧問・ボランティアリズム研究所  
所 長 岡本 榮一 氏

対談者 日本福祉教育・ボランティア学習学会理事/日本福祉大学  
教 授 原田 正樹 氏

・分科会

第1：地域支えあいの仕組みづくりにみる福祉教育  
～地域包括ケアシステムと福祉教育～

第2：一人ひとりが地域で暮らしていくための福祉教育  
～「各論反対」を「各論賛成」にする学び～

第3：当事者と「共に生きる力を育む」学び  
～今、学校現場で求められる連携とは～

第4：福祉でまちづくりと市民力形成 ―知多半島からの発信―

### 4 児童・生徒の福祉実践教室の開催

①学校別

小学校	799校	中学校	180校	高 校	57校
専門学校	0校	その他	12校	合 計	1,048校

②実施科目別内訳

科目	車いす	手話	要約筆記	点字	盲導犬	視覚障害者ガイド	知的障害	疑似体験	その他
回数	506	490	143	453	92	388	42	284	238

③参加児童生徒数 153,169人

④テキスト「思いだしてごらん」の作成

児童・生徒の福祉実践教室用のテキストとして、車いす、点字、手話、要約筆記、盲導犬、知的障害者理解などを通して、障害者への理解と身近にできるボランティア活動を紹介した冊子を作成しホームページに掲載し、福祉実践教室に参加した児童・生徒、先生等によって活用された。

⑤実施カリキュラム(標準)

時間	30分(2時限)	40分(3時限:選択)、40分(4時限:選択)		
科目	講義「私たち障害者の願い」等	車いすの説明・実技	手話または要約筆記の説明・実技	点字の説明・実技
人数	全員	40名以内	40名以内	40名以内
会場	室内	室外(雨天室内)	室内	

⑥協賛団体

愛知県身体障害者福祉団体連合会、愛知県盲人福祉連合会、愛知県聴覚障害者協会、車いすセンター、愛知県難聴・中途失聴者福祉連合会、中部盲導犬協会、愛知県知的障害者育成会

5 福祉体験作文コンクール

小・中・高等学校の児童・生徒を対象として、福祉の体験作文を募集した。

①募集期間 4月～9月

②応募状況

区分	小学生		中学生	高校生	合計
	低学年	高学年			
応募数	113編	337編	227編	16編	693編

③福祉体験作文コンクール優秀作品の選考、優秀作品集の作成

選考委員会で26編の優秀作品を選び、入選者を表彰するとともに、優秀作品集として750部作成し、関係機関に配布した。なお、選考委員会は、教育委員会・福祉関係者等6人を委員として、1月8日に開催した。

6 「ボランティア体験月間」の普及促進

・参加者総数 7,639人 受入施設数 延べ800施設